

いつも大変お世話になり、ありがとうございます。

今年2月、電話による「米中首脳会談」が行われました。今回判明したのは、一つは、米国がかなり中国に対し危機感をもっていることです。軍事面でも追い上げられて、アジア太平洋では、米国も簡単に手を出せなくなっています。事実、西沙諸島、南沙諸島、香港は中国の意のままになっています。

経済面でも同様です。8年後には中国が米国を抜いて、世界最大規模の経済に成長する予想です。また世界64カ国にとって中国は最大の貿易国です（米国は38カ国）。

規模だけでなく、今や技術革新や消費者動向の最先端の流れを見極めるため多くの企業が馳せ参じるようになっていきます。昨年、海外投資が世界で一番集まったのは中国です。香港では、中国共産党から弾圧を受けても、現在、金融はそんなことに関係なく好調です。

もう一つ「米中首脳会談」で判明したのは、中国は

自信満々に世界の超大国と堂々と横綱相撲をとっていることです。これまでの強硬姿勢を和らげる気配すらありません。

私は昔から訴えてきましたが、**我が国も現実を直視して自国の国力を増強しないと、中華大文明圏に少しずつ呑み込まれていきます。**

これは決して迂遠な外交の話ではありません。中国の経済進出は中国共産党と密接につながっています。すでに我が国の土地、技術、個人情報などが吸い上げられています。近い将来、中国が貿易交渉などで、我が国の企業、制度や商慣習などに圧倒的な国力で口出ししてくるでしょう。

このように私たちの日々の生活が、中国の覇権的国家経済主義に大きく左右されます。私はこの視点で様々な政策を訴えているので、是非公式LINEに登録して、私の政策やブログをご覧ください。（LINE登録は裏のQRコードよりできます）